

建設業の将来を支える高校生が現場見学

あたんこう じゅうてん

～恵那農業高校の生徒さんが亜炭坑充填材プラントを見学～多治見砂防国道事務所

多治見砂防国道事務所では、御嵩町内の国道21号において亜炭坑の充填工事を実施しています。

6月9日(金)、岐阜県立恵那農業高等学校環境科学科3年生37名が、専門研修として、御嵩町の国道21号(旧道)で行われている亜炭坑充填工事の亜炭坑充填材プラント現場を見学し、充填材混合の実験を体験しました。

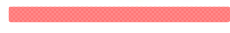


職員から多治見砂防国道事務所の事業説明と亜炭坑充填工事の概要を聞きました。

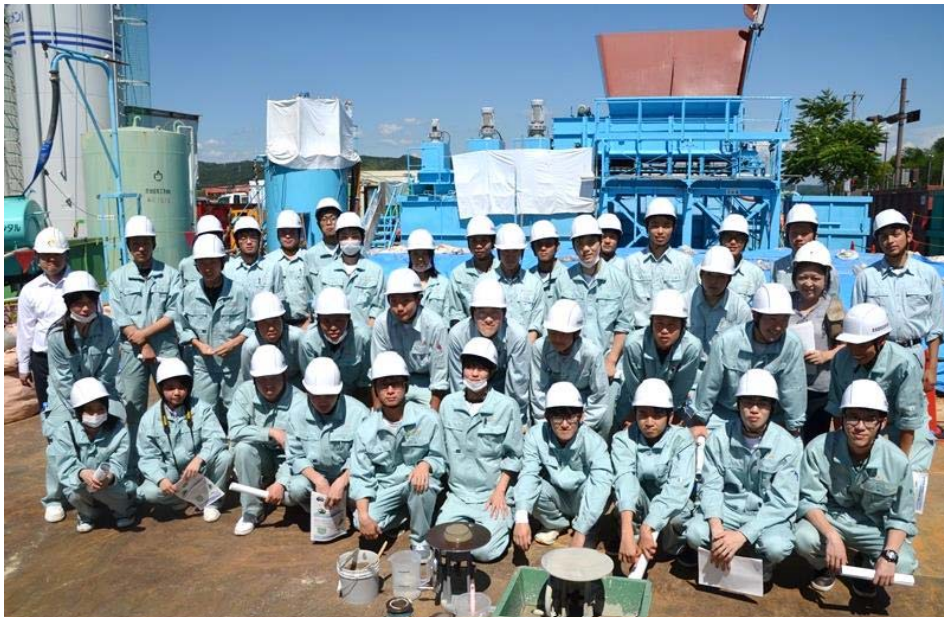


請負業者から工事の詳細について学びました。



凡例  : 現在の工事箇所

位置図



将来を支える高校生、爽やかな青空に視界は良好！

トピックス

恵那農業高校がある恵那市で計画されている瑞浪恵那道路のストック効果を紹介したパネルを展示して見てもらいました。



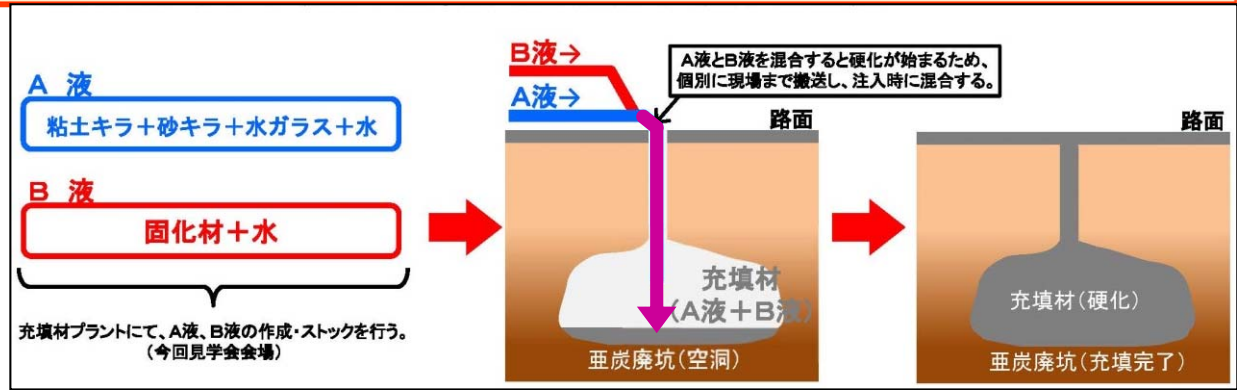
「今後、完成を楽しみに工事等、見ていこうと思います。」など感想を頂きました。地元なので興味有りでした。

多治見砂防国道事務所では国道21号の道路の安全を確保するために、亜炭坑跡の空洞の充填工事を順次進めています。

今回、恵那農業高校の生徒さんが専門研修として最新の充填材のプラントで、過去の亜炭坑跡の陥没・沈下被害状況を学び、限定充填材の混合実験を体験しました。

亜炭は明治時代より化石燃料として盛んに採掘がされましたが掘削後の埋め戻しがされないままの状態では放置されていました。

御嵩町では近年、亜炭坑が崩れたことが原因とみられる、土地の陥没・沈下により家屋の破損の被害が生じていました。



2種類の液体を使い実験！

2種類の液体を交互に混ぜると・・・



不思議？コップからこぼれないぞ！



A液だけなので液状のままの状態

A液とB液を混ぜたので固体の状態



恵那農業高校生の「声」

(現場見学、体験が) 将来の職業を選択する上でも、「参考になりました。良かったです。」

「土木の授業は受けていますが、知らなかったこともあり、勉強になりました。」